

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 7月 5日(水) 発行人: 校長 森内 秀学

身構えずにいこう！



つい、身構える感覚は、どのようなときに覚えますか？怖いときはもちろんでしょうが、多くの人はそれが「よく分からない」ときに、身構えるのではないかと思います。どうするのかな？これでいいのかな？という思いは、身構えている証拠です。

さて、前号でもお知らせしたように、事務の高橋先生は、耳が不自由です。耳が不自由な方と一緒に働いたことがない私は、まさに「身構えて」いました。どうやって

コミュニケーションを取ればよいのか、どんな仕事をお願いできるのか、心底悩みました。そして、音声を変換するアプリを入れたり、学年主任と相談したりしました。

ところが、子どもたちはお構いなしなのです。スマホなんてなくても、運動場を眺めている高橋先生をあっという間に取り囲み、入れ代わり立ち代わりで、手話を教えてほしいとねだっていました。とても素敵な光景でしたので、思わず収めた写真がこれです。

よく分からないからと身構えたり壁を作ったりせず、あっという間に懐に飛び込む子どもたちの姿を目の当たりにしたとき、子どもって本当にすごいと思いました。

手話を教わった子どもたちは、「校長先生、これな～んでしょ！」と嬉しそうに披露してくれます。仕事の邪魔にならないようにと、雨の日の昼休みだけ開催予定だった高橋先生の「手話っち講座」は、天気なんてお構いなしに、校内のあちこちで開催されています。



手作り「のれん」完成！

新型コロナの感染拡大を防ぐため、トイレの扉を閉め切らない形で使用してきた時津小のトイレ。健康維持のためとはいえ、恥ずかしさもありました。そこで、用務員の加藤さんが手作りで作ってくださったのが、左の「のれん」。下には、ポロシャツと同じ「たい」のマーク入りです。今は試験的に2年生の男子トイレに設置してありますが、好評でしたら、今後、時間を見つけて他のトイレにもつけてくださるそうです。お楽しみに！

明後日は、七夕

明後日は、七夕。手書きの竹が描かれた模造紙には、ふたばの子どもたちの願いがいっぱい。叶うといいね。

